

災害時母子救護研修

家を失った妊婦・褥婦・乳幼児はどこで生活するか知っていますか？



2019年9月23日(月・祝) 9:00~13:00

場所：浦河赤十字病院

浦河町東町ちのみ 1丁目 2-1

募集人数：36名(6人×6グループ)

職種：不問(医療知識は問われません)

災害時に環境の変化を受けやすい妊産婦や乳幼児には、適切な生活環境が確保されるように最大限の配慮が求められます。地球温暖化の影響も受けて、世界のあちこちで起きている災害のニュースを以前より耳にするようになりました。災害は「忘れた頃にやってくる」のではなく「忘れないうちにやってくる」ようになりました。

災害はいつどこで発生するかわかりません。災害時という特殊な状況下では、平時の業務の延長線上で全てが対応できるとは限りません。災害時に慌てないようにするために、未曾有の被害をもたらした東日本大震災、熊本地震など過去の災害の経験を通して母子救護に何が必要か。HUG(避難所運営ゲーム)で災害時の状況を模擬体験しながら、地域の実情に合わせた災害時の母子救護の重要性を一緒に考えていきましょう。

☆内容に関するお問い合わせ、申し込み

WIND 齊藤 良玄 m010067d@yahoo.co.jp

募集期間 2019年7月1日~7月31日まで。

申し込み方法 WEB 申し込み

ご不明な点がございましたらメールでご連絡ください。

